

農林環境専門職大学とボゴール農科大学との大学間交流に関する覚書の締結について

(農林環境専門職大学)

1 要旨

令和5年3月2日(木)、在日インドネシア大使館で Mr. Heri Akhmadi 駐日特命全権大使立ち会いのもと、Dr. Arif Satria ボゴール農科大学 (IPB) 学長と静岡県立農林環境専門職大学鈴木滋彦学長が大学間交流に関する覚書を締結した。

本覚書は、農林環境専門職大学における海外大学との覚書の締結第1号となる。

2 締結式の概要

項目	内容
日時	令和5年3月2日(木) 午前11時から12時
会場	駐日インドネシア大使館 (東京都新宿区四谷)
出席者	(インドネシア) 在日インドネシア特命全権大使 Heri Akhmadi (ヘリ・アフマディ) ボゴール農科大学学長 Arif Satria (ア Rif・サトリア) (静岡県) 静岡県立農林環境専門職大学学長 鈴木滋彦

3 覚書の内容

第1条 両当事者は、学術、研究及び支援活動の協力関係を構築する場合、その協力を奨励する。  
 第2条 各特定プログラムまたは活動の条件は、別途合意書を通じて両当事者が文書で合意する。  
 第3条 このMoU (※) は、署名の日付から有効である。このMoUは5年間有効であり、各パートナーが有効期限前に更新しない旨の決定を書面で通知しない限り、さらに5年間自動的に更新される。

(※) MoU : Memorandum of Understanding 覚書

(締結式の模様)



駐日インドネシア大使のスピーチ



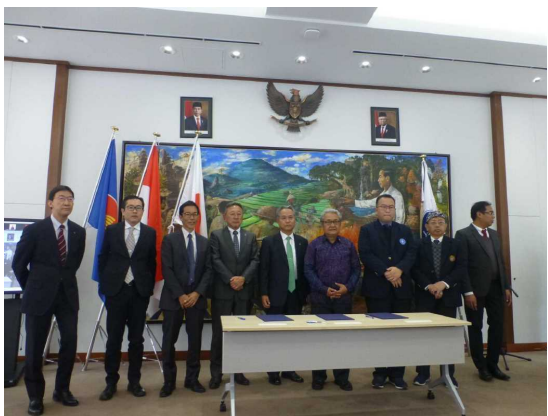
ボゴール農科大学長のスピーチ



鈴木学長のスピーチ



大使立ち会いのもと覚書締結



関係者による記念撮影



富士山百画の贈呈



温室メロンの贈呈



本学圃場で採れた「きらび香」を贈呈



静岡県立農林環境専門職大学

# R4 アグリフォーシ公開講座

## 農業者向けスキルアップ講座

### 1 趣旨

ビジネス経営体や認定農業者の育成、それを支える経営幹部や後継者となる人材を養成するため、生産技術や経営ノウハウ、新たなアグリビジネスにチャレンジするために必要な知識を学ぶ研修を実施します。

### 2 研修場所

静岡県立農林環境専門職大学（磐田市富丘678-1）



公式Webサイト

#### ACCESS

##### 電車・バスで来校の方

###### ■東京方面より

新幹線「JR浜川駅」下車、東海道本線に乗り換え  
東海道本線「JR磐田駅」下車。

###### ■名古屋方面より

新幹線「JR浜松駅」下車、東海道本線に乗り換え  
東海道本線「JR磐田駅」下車。

JR磐田駅北口のバスロータリー2番乗り場より、  
遠鉄バス「らびーと行き」又は「二俣 山東行き」に乗車。  
「図書館前」で下車、徒歩10分程度。

##### 自動車で来校の方

豊田東ICで降りて県道44号線に、  
県道44号線を南下し、2つ目の信号（見付変電所）を  
右折、看板を左折し上り坂の突き当りを左折。



### 3 各講座の内容

#### (1) アグリ実践講座 新規就農者向け

- ◆目的 農業の生産に関する基礎的知識や基本技術の講義・実習を行い、農業知識を実際の生産場面でどのように活かしていくかを学ぶ。
- ◆対象者 概ね就農3年以内の野菜生産者（後継者・新規就農者・生産法人社員など）
- ◆受講料 7,000円（※一括前払いです。欠席等による返金はいりません。）
- ◆定員 10人程度
- ◆内容 講義では、土壌肥料や植物生理、病虫害防除など、栽培管理に係る基礎を、実習では主に露地圃場でのレタスの作付けから収穫までの作業を行います。
- ◆持ち物 農作業が可能な服装で、長靴及び雨天時の合羽を御持参下さい。

回	開催月日	内容		講師
1	8月23日 (火)	講義	ガイダンスと農産物流通の基礎知識	教授 菊池宏之
		実習	流通販売施設（視察）	講師 大石 竜
2	8月30日 (火)	講義	土壌肥料の基礎知識	教授 松尾和之
		実習	作付前圃場・元肥施用	講師 大石 竜
3	9月13日 (火)	講義	農業機械の構造と安全作業	講師 長藤亮彦
		実習	農業機械の操作・メンテナンス	
4	9月27日 (火)	講義	植物生理の基礎知識	教授 稲葉善太郎
		実習	露地野菜の定植	講師 大石 竜
5	10月18日 (火)	講義	病虫害防除の基礎知識	教授 外側正之
		実習	薬剤調整及び散布	講師 大石 竜
6	11月1日 (火)	講義	農業用ハウスの構造・環境制御	教授 佐藤展之
		実習	施設野菜の栽培管理作業及び環境管理	講師 大石 竜
7	11月15日 (火)	講義	収穫後生理・貯蔵流通の基礎知識	講師 池ヶ谷篤
		実習	収穫・調整作業	講師 大石 竜

#### (2) アグリビジネス講座 新たな事業展開を目指す農業者向け

- ◆目的 農林業経営における現在の事業展開の再評価により、取扱商品の価値の最大化を図るために、新規顧客開拓や新たな商品開発等に必要な基礎知識を学ぶ。
- ◆対象者 既存市場浸透、新規市場開拓及び新たな商品開発等を目指す農業者等
- ◆受講料 6,000円（※一括前払いです。欠席等による返金はいりません。）
- ◆定員 10人程度
- ◆備考 オンラインでの参加が可能です（第6回を除く）  
講義内容は昨年度のものと同様です。

回	開催月日	内容	講師
1	8月9日 (火)	経営環境不確実性時代に不可欠な経営革新推進課題を考える	教授 菊池宏之
		競争優位性確保に向けた6次産業化推進で考えること	
2	8月30日 (火)	既存生産品の価値再発見と価値訴求の再検討	教授 菊池宏之
		参加企業又は先事例の有意性等の再確認に関する意見交換	
3	9月6日 (火)	増収益食品SMの戦略と課題及び意見交換	教授 菊池宏之 外部講師
4	9月13日 (火)	6次産業化の取組と課題及びディスカッション	教授 前田節子 外部講師
5	9月20日 (火)	インバウンド時代の農業経営 ①アグリリズム ②越境Eコマース	教授 柯 麗華
6	10月4日 (火) 【実習】	加工食品実習(予定)	教授 前田節子

### (3) ファーム・マネジメント講座 スキルアップを目指す農業者向け

- ◆目的 今後の農業を担う優れた経営感覚を備えた農業人材の育成のため、農業経営やマーケティングについて学ぶ。
- ◆対象者 概ね就農5～10年程度の農業者や農業法人の幹部候補者、JA営農指導員など
- ◆開催回数 5回(予定)
- ◆受講料 5,000円(※一括前払いです。欠席等による返金はありません。)
- ◆定員 20人程度
- ◆備考 講義内容は昨年度のものと同様です。

回	開催月日	内容	講師
1	10月11日 (火)	農業経営及び新技術開発(品種開発からICT・RTまで)	教授 天野哲郎
		農業経営の組織	講師 大石 竜
2	10月18日 (火)	農業経営における人材育成	准教授 横田茂永
		農業の人材育成に向けた地域連携	
3	10月25日 (火)	生鮮品の消費者購買行動変化と流通業の対応 課題からみる生産者として考えること	教授 菊池宏之
		農業生産者の消費者適応戦略を考える	
4	11月1日 (火) 【実習】	経営の診断と分析法 ①収益構造図と原価配分法によるコスト分析②損益分岐点分析	教授 小林信一
5	11月8日 (火) 【実習】	農業経営のモデル化と経営計画手法 ①オペレーションズ・リサーチ ②LP実習	教授 天野哲郎

## 4 受講について

### (1) 研修申し込み

- ・別紙「研修申込書」を7月1日（金）までに下記の[送付先]あて御提出下さい。
- ・申請書の提出方法は郵送又はメールとします（FAX 不可）。本学に直接お申込下さい。
- ・各講座の定員を超えた場合、本学において選考を行い、受講者を決定します。
- ・受講の可否については、御応募いただいた全員の方に、7月中旬頃に通知させていただきます。
- ・受講料については、受講者決定後に、県から発行する納入通知書にて一括でお支払いいただきます。なお、納入後は、欠席等を理由とした返金はいりません。

### [送付先]

〒438-8577 磐田市富丘678-1

農林環境専門職大学 総務企画課

メールアドレス：noukandaisoumu@pref.shizuoka.lg.jp

### (2) 受講に当たっての留意事項

- ・開講時間は原則として13:00~16:20までとなります。
- ・講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で実施します。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大等の状況により、開講日程が変更したり、中止となることがあります。
- ・講座実施中の万一の事故に備えるため、あらかじめ障害保険などへの加入をお願いします。

### 【お問い合わせ先】

- 受講の申し込み、受講料の振込みについてのお問い合わせ

総務企画課 0538-31-7901

noukandaisoumu@pref.shizuoka.lg.jp

- 講座の内容に関するお問い合わせ

教務課 0538-31-7906

noukandaikyomu@pref.shizuoka.lg.jp

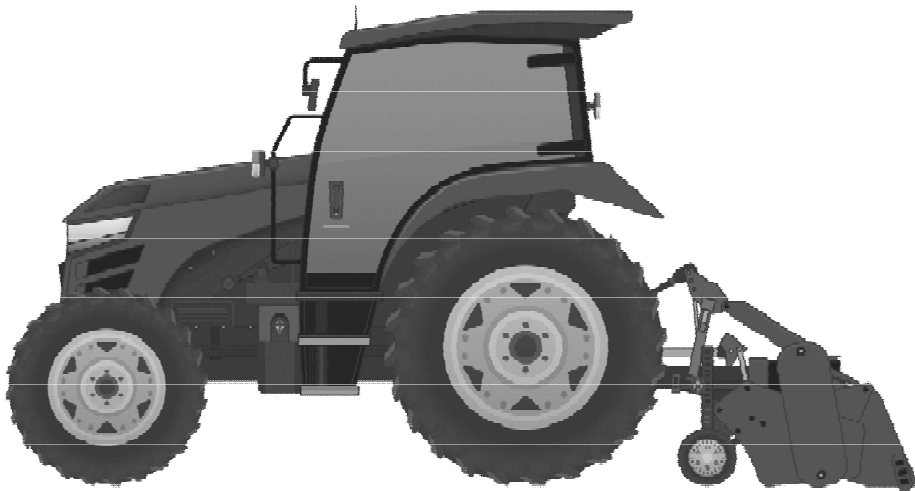
令和4年度 大型機械研修実績

試験回次	期間	区分	専攻名等	大型特殊				牽引				限定解除					
				研修受講者	研修修了者	受験者	合格者	研修受講者	研修修了者	受験者	合格者	研修受講者	研修修了者	受験者	合格者		
1 (4/15)	春期集中	学生	茶業、畜産	15	15	11	11										
	臨時	県職	教員、農技研職員	7	7	7	7	1	1	1	1						
		一般	再受験			2	2										
2 (5/26)	春期	学生	野菜①	20	20	20	20										
		学生	未受験(R3受講生)			1	1										
	臨時	県職	農技研職員	5	5	5	5										
3 (6/10)	①②	一般		29	29	29	27										
4 (7/7)	夏期	学生	花き、果樹	24	24	24	21										
		一般	再受験			1	1										
5 (8/5)	夏期	学生	林業	9	9	9	8										
	③	一般		9	9	9	6										
	牽引①	一般						4	4	4	4						
6 (9/30)	前期集中	学生	4大	26	26	25	25										
		学生	未受験、再受験			2	2										
		一般	再受験			2	2										
7 (10/27)	秋期	学生	野菜②	20	20	20	18										
	牽引②	一般						4	4	4	3						
8 (11/18)	④⑤	一般		24	24	24	22										
		一般	再受験							1	1						
9 (12/9)	⑥⑦	一般		29	28	28	26										
10 (1/20)	⑧⑨	一般		26	26	26	22										
11 (1/27)	補講(牽引)	学生	短大(希望者)					8	8	8	8						
	⑩	一般		9	9	9	9										
		学生	再受験			3	3										
		一般	再受験			1	1										
12 (2/10)	補講(限定解除)	学生	短大(希望者)									7	7	7	7		

	大型特殊				牽引				限定解除			
	研修受講者	研修修了者	受験者	合格者	研修受講者	研修修了者	受験者	合格者	研修受講者	研修修了者	受験者	合格者
計	252	251	258	239	17	17	18	17	7	7	7	7
学生	114	114	115	109	8	8	8	8	7	7	7	7
一般(含む教員、農技研職員)	138	137	143	130	9	9	10	9				

**令和4年度**

**農業機械研修計画**



**静岡県立農林環境専門職大学**



# 目次

<b>1 趣旨</b> .....	1
<b>2 研修場所</b> .....	1
<b>3 研修計画</b> .....	1
<b>4 受講手続き</b>	
(1) 研修申込み .....	2
(2) 研修決定及び研修案内 .....	2
(3) 研修決定後の受講者留意事項 .....	2
(4) 問合わせ・申込み先 .....	3
<b>5 研修の内容</b>	
(1) 農作業安全研修 .....	5
(2) 農業機械応用研修 .....	5
<b>6 研修申請書様式</b>	
様式第1号（農作業安全研修申請書） .....	6
様式第2号（農業機械応用研修申請書） .....	7
様式第3号（後継者養成研修機関等団体用研修申請書） .....	8

# 農業機械研修計画

## 1 趣旨

農業機械の効率的かつ安全な利用に関し、高度な知識・技能を備えた担い手等を養成するため、農業機械研修を実施する。

この計画は、静岡県立農林環境専門職大学が農業機械研修を行う上で必要な事項を定めるものとする。

## 2 研修実施場所

静岡県立農林環境専門職大学 掛川機械研修場

掛川市下垂木2770-1

## 3 研修計画

研修区分	規模		日程	免許試験日
	定員	日数	月日	月日
①	15	3	6/6,7,10	6/10
②	15	3	6/8,9,10	6/10
③	10	3	8/2,3,5	8/5
④	15	3	11/14,15,18	11/18
農作業安全研修 ⑤	15	3	11/16,17,18	11/18
⑥	15	3	12/5,6,9	12/9
⑦	15	3	12/7,8,9	12/9
⑧	15	3	1/16,17,20	1/20
⑨	15	3	1/18,19,20	1/20
⑩	10	3	1/24,25,27	1/27
農業機械応用研修	授業や農作業安全 研修の状況により 受講人数が限定	集合研修1日 個別研修2日 程度	集合研修日 ① ② 個別研修は集合研修後 に調整	個別研修後に調整

※同一年度に農作業安全研修と農業機械応用研修を受講することは不可

## 4 受講手続き

### (1) 研修申込み

- ◆申請書の受付開始は、4月1日（金）とし、提出期限は4月15日（金）必着とする。
- ◆申請書の様式が入手が困難な場合は、静岡県立農林環境専門職大学教務課（TEL 0538(31)7906）へ連絡すること。
- ◆申請書の提出方法は、郵送か直接持参とする（FAX 不可）。
- ◆電話は問い合わせのみ、受付は申請書を受理した時点とする。

研修名	申請書様式	申請書提出先	提出期限
農作業安全研修	様式第1号	静岡県立 農林環境専門職大学 総務企画課 〒438-8577 磐田市富丘678-1	令和4年4月15日（金）
農業機械応用研修	様式第2号		
他の後継者養成研修機 関の学生等が団体で受 講する場合	様式第3号		

※同一年度に農作業安全研修と農業機械応用研修を受講することは不可

### (2) 研修決定及び研修案内

- ◆定員を超えた場合は、抽選（農業者、就農予定者を優先）を行う。
- ◆研修の可否、受講の詳細については、5月以降に通知する。

### (3) 研修決定後の受講者留意事項

#### ア 研修経費

- ◆受講料は無料
- ◆運転免許試験に受験に係る経費は実費（免許試験受験料（2,600円）、免許交付手数料（2,050円））
- ◆運転免許試験受験手続きについては、（2）の通知時に併せて指示

#### イ 研修時

- ◆研修時間は、原則として9:00～16:00とする。
- ◆受講が困難になった場合は、速やかに申し出ること。
- ◆運転免許試験の合格者は、免許の即日交付手続きを静岡県警察西部運転免許センター（浜松市浜北区）で行うので、移動手段を確保すること。
- ◆筆記用具、屋外での作業が可能な服装、雨天時の合羽、昼食を用意すること。
- ◆研修期間中の万一の事故に備えるため、あらかじめ傷害保険などに加入してから研修に参加すること。

(4) 申込み・問合せ先

【研修申込み】

静岡県立農林環境専門職大学 総務企画課

〒438-8577 磐田市富丘 678-1 TEL 0538(31)7901

【運転免許申請書提出・問合せ】

静岡県立農林環境専門職大学 教務課

〒438-8577 磐田市富丘 678-1 TEL 0538(31)7906

【研修実施場所】

静岡県立農林環境専門職大学 掛川機械研修場

〒436-0222 掛川市下垂木 2770-1

【各農林事務所問合せ】

静岡県 賀茂農林事務所 企画経営課	TEL 0558(24)2076
東部農林事務所 企画経営課	TEL 055(920)2157
富士農林事務所 生産振興課	TEL 0545(65)2192
中部農林事務所 地域振興課	TEL 054(286)9281
志太榛原農林事務所 生産振興課	TEL 054(644)9223
中遠農林事務所 地域振興課	TEL 0538(37)2283
西部農林事務所 地域振興課	TEL 053(458)7219
西部農林天竜農林局 地域振興課	TEL 053(926)2139

## 農林環境専門職大学 掛川機械研修場へのご案内



- 自動車** 東名・掛川インターから 約 15 分  
 国1バイパス・大池インターから 約 3 分
- 交通機関** JR・掛川駅からタクシーで 約 10 分  
 天竜浜名湖鉄道・桜木駅から徒歩で 約 15 分

## 5 研修の内容

### (1) 農作業安全研修

- ◆目的 乗用トラクターの基本的な点検方法と安全運転技術の習得により農業機械の安全対策を徹底し、農作業事故の防止を推進
- ◆対象者 農業者及び就農予定者等で普通免許または自動二輪免許を有する者
- ◆開催回数 年 10 回（予定）

日 順	研 修 内 容			
	9:00~12:00	方法	13:00~16:00	方法
1日目	トラクターの機能と基本操作 トラクターの仕業点検	講義 実技	トラクターの運転操作	実技
2日目	農作業安全対策 トラクターの運転操作	講義 実技	トラクターの運転操作	実技
3日目	大特(農耕) 運転免許試験	試験	運転免許即日交付手続き (西部運転免許センター)	

※申請書様式第 1 号を提出してください。

### (2) 農業機械応用研修

- ◆目的 農業機械の運転技術（乗用トラクターによるけん引）の向上及び安全対策の習得
- ◆対象者 農業者及び就農予定者等で大型特殊免許または大型特殊免許（農耕車限定）を有する者

日 順	研 修 内 容			
	9:00~12:00	方法	13:00~16:00	方法
集合研修			けん引の構造、運転免許制度、 けん引のハンドル操作	講義 実技
個別研修	トラクター（けん引）の運転操作、試験コースの走行 (2日間程度、日程は別途調整)			実技
運転免許 試験	けん引(農耕) 運転免許試験	試験	運転免許即日交付手続き (西部運転免許センター)	

※申請書様式第 2 号を提出してください。

# 研修申請書

（農作業安全研修）

年 月 日

静岡県立農林環境専門職大学事務局長 様

氏名 \_\_\_\_\_

農業機械研修（農作業安全研修）を受講したいので申請します。

## 記

1 住 所 〒 \_\_\_\_\_

2 氏 名 ふりがな \_\_\_\_\_

3 生年月日 昭和・平成 \_\_\_\_年\_\_月\_\_日生

4 電話番号 \_\_\_\_\_（ ） ※携帯電話等必ず連絡のとれる番号

5 職 業（該当するところに○印）

農業

農業法人（名称 \_\_\_\_\_）

J A（名称 \_\_\_\_\_）

農業団体（名称 \_\_\_\_\_）

農業関連会社（名称 \_\_\_\_\_）

その他（具体的に \_\_\_\_\_）

6 研修期間調整

### 都合の悪い期間に×を記入してください

	研修期間	都合の悪い期間に×
①	6月6,7,10日	
②	6月8,9,10日	
③	8月2,3,5日	
④	11月14,15,18日	
⑤	11月16,17,18日	
⑥	12月5,6,9日	
⑦	12月7,8,9日	
⑧	1月16,17,20日	
⑨	1月18,19,20日	
⑩	1月24,25,27日	

# 研修申請書

（農業機械応用研修）

年 月 日

静岡県立農林環境専門職大学事務局長 様

氏名 \_\_\_\_\_

農業機械研修（農業機械応用）を受講したいので申請します。

## 記

1 住 所 \_\_\_\_\_

2 氏 名 ふりがな \_\_\_\_\_

3 生年月日 昭和・平成 \_\_\_\_年\_\_月\_\_日生

4 電話番号 \_\_\_\_\_（ ） ※携帯電話等必ず連絡のとれる番号

5 職 業（該当するところに○印）

農業

農業法人 （名称 \_\_\_\_\_）

J A （名称 \_\_\_\_\_）

農業団体 （名称 \_\_\_\_\_）

農業関連会社（名称 \_\_\_\_\_）

その他 （具体的に \_\_\_\_\_）

6 研修期間調整

**都合の悪い日に×を記入してください**

	集合研修日	都合の悪い日に×
⑪	6月24日	
⑫	9月5日	



# 研修申請書

(後継者養成研修機関等団体用)

年 月 日

静岡県立農林環境専門職大学事務局長 様

所属長



農業機械研修 (農作業安全研修) を受講したいので申請します。

## 記

### 1 研修期間調整

都合の悪い期間に×を記入してください

	研修期間	都合の悪い期間に×
⑬	6月6,7,10日	
⑭	6月8,9,10日	
⑮	8月2,3,5日	
⑯	11月14,15,18日	
⑰	11月16,17,18日	
⑱	12月5,6,9日	
⑲	12月7,8,9日	
⑳	1月16,17,20日	
21	1月18,19,20日	
22	1月24,25,27日	

### 2 受講希望者名簿

ふりがな 氏 名	生年月日	住 所

### 3 研修担当者

氏名

担当部署

電話番号

メールアドレス

## 令和4年度農業機械研修開催日

研修区分	規 模		日 程	免許試験日	
	定 員	日 数	月 日	月 日	
農作業安全研修	①	15	3	6/6,7,10	6/10
	②	15	3	6/8,9,10	6/10
	③	10	3	8/2,3,5	8/5
	④	15	3	11/14,15,18	11/18
	⑤	15	3	11/16,17,18	11/18
	⑥	15	3	12/5,6,9	12/9
	⑦	15	3	12/7,8,9	12/9
	⑧	15	3	1/16,17,20	1/20
	⑨	15	3	1/18,19,20	1/20
	⑩	10	3	1/24,25,27	1/27
農業機械応用研修	授業や農作業安全 研修の状況により 受講人数が限定	集合研修1日 個別研修2日 程度	集合研修日 ①6/24 ②9/5 個別研修は集合研修後 に調整	個別研修時に調整	

## 保健医務室利用状況報告（学生利用分）

保健医務室 保健師 今田

【令和4年度】

### 1. 利用者数（延べ数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
保健師在室時	11	12	28	3	1	1	6	0	6	1			69
保健師不在時	1	4	8	0	0	2	1	2	3	1			22
月間計	12	16	36	3	1	3	7	2	9	2			91

### 2. 設備利用者数（延べ数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
救急箱	1	1	9	0	1	1	1	1	8	2			25
休養ベッド	1	0	2	0	0	1	3	1	1	0			9

### 3. 利用内容の内訳（延べ数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
健康相談	身体	1	3	4	1	0	0	1	0	0	0		10
	メンタル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
健診	結果説明	0	3	4	2	0	0	0	0	0			9
事後措置	検査・指導	0	4	12	0	0	0	0	0	0			16
応急対応	外傷	0	1	9	0	1	1	1	7	2			23
	体調不良	1	0	2	0	0	1	3	1	2	0		10
その他		10	5	8	0	0	1	3	0	0			27

### 4. 備考

4月	その他の内容（入学時健康調査票聞き取り7名、検査提出説明等3名）
5月	その他の内容（入学時健康調査聞き取り3名、検査説明1名、体重測定1名）
6月	その他の内容（検査説明7名、体重測定1名）
7月	
8月	
9月	その他の内容（血圧測定1名）
10月	その他の内容（入学者選抜事前相談同席3名）
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	